

2006 年度

科目名 英文学研究 I	対象学科・学年 研究科英語(前)1 回生 研究科英語(後)1 回生	担当者 伊達 寿曠
授業テーマ William Shakespeare の劇を精読し、研究する。		
授業の概要と目標 Shakespeare の劇のうち代表的なもののひとつ <i>King Lear</i> を取り上げ、これを多角的に研究する。まずは Shakespeare の英語を正確に読み取ることから始め、ついでその表現の技巧、特徴を検討し、その高度な文学性を理解、鑑賞する。なお批評についても触れる。		
評価方法 前期・後期の筆記試験による。		
テキスト <i>The Tragedy of King Lear</i> (The New Cambridge Shakespeare)	著者 W. Shakespeare	出版社 Cambridge U.P.
参考書 適宜指示する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 ＊ 進度予定表に従って授業を進める。 ＊ 各自が分担範囲を持ち、責任をもって万全の作業をする。 ＊ 教授者はこれにたいして質問、正誤、語学的文学的なコメントを付す。 ◎ この作品は Shakespeare の中でも傑作であるが、英語表現、内容ともに難度が高い。したがってこれを読みこなすには、かなり高い英語力が要求されるばかりか、予習にも相当の時間を要する。あらかじめこの点に十分留意した上で受講されたい。		